堀内健匠　150212

動機

　響先輩に対する僕の持つイメージは、３年生のグループの中で誰と接していても、優しくにこやかな雰囲気を保っていられるクラスの中で愛されている先輩像。また、後輩に対してはまるで同学年のように会話をしている穏やかな先輩像である。実際、響先輩と話をしたときには、一瞬、先輩であることを忘れるほどだった。僕は人付き合いが得意ではないので得意ではないので、そんな誰からも愛される先輩の振る舞い、表情などが響先輩の魅力だと自分なりに感じていた。その魅力、人間関係を探っていきたい。さらに、響先輩は今年の文化発表会で大役を見事に果たしていた。それはクラスからの信頼が厚いだけでなく、勇気を持った先輩だからこそできたことだと思う。その勇気という魅力も探ってみたい。